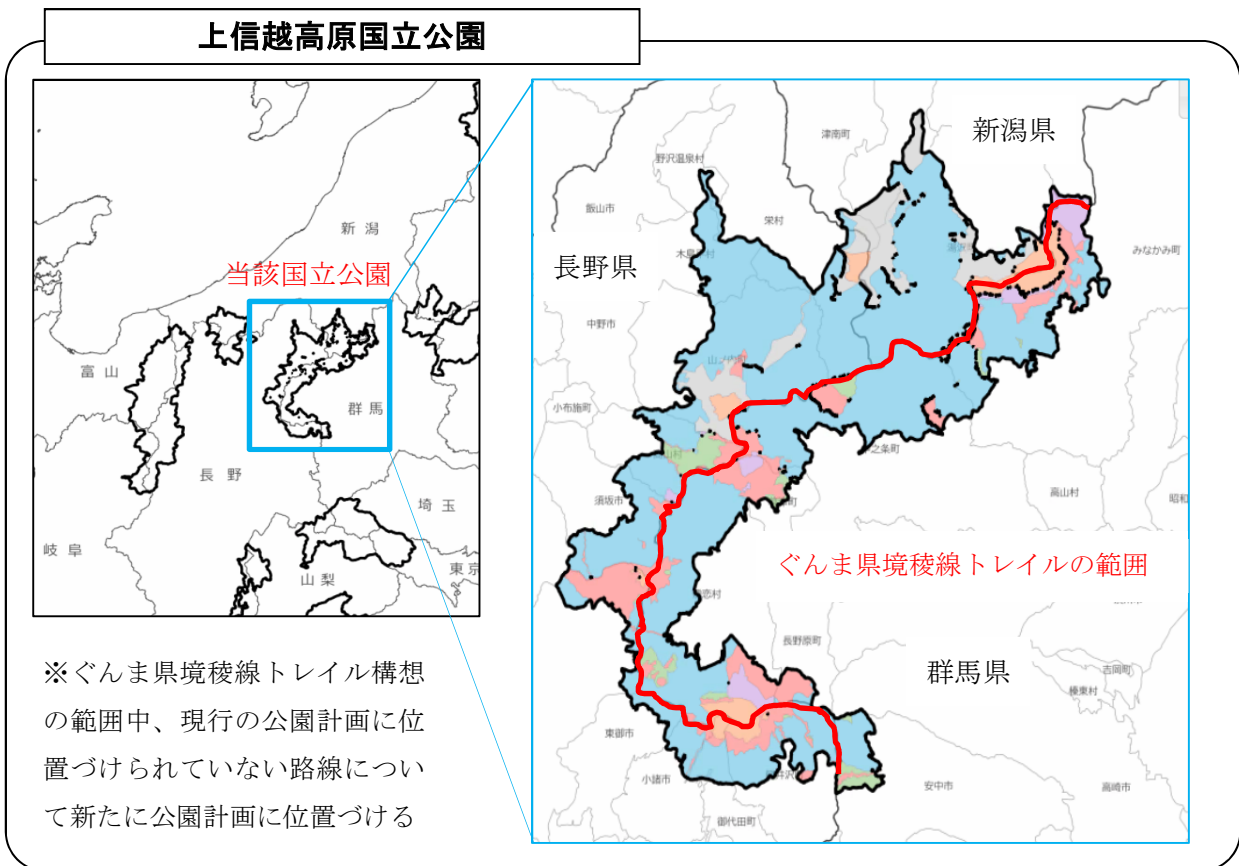


上信越高原国立公園の公園計画の変更案の概要

1. 背景

上信越高原国立公園は、群馬県、長野県、新潟県の3県にまたがり、浅間山、四阿山、白根山、岩菅山等の火山群やそれらの山麓の火山性高原、谷川連峰等の構造山地に、巨大な溶岩台地である苗場山の地域等を合わせた我が国を代表する山岳及び高原の優れた自然の風景地です。

今回、群馬県が主体的に進めるロングトレイル構想（「ぐんま県境稜線トレイル」）と連携し、当該公園内の県境を通過する歩道を公園事業道路（歩道）として位置づけ、適切な維持管理や公園利用の促進を図ることを目的に、公園計画を変更するものです。



2. 変更案のポイント

上信越高原国立公園の中央を縦横断する稜線上の歩道を、道路（歩道）事業として位置づけることで、適切な利用と維持管理等の促進を図ります。

3. 変更案の詳細

利用施設計画の変更：道路（歩道）

〔新規計画〕 稲包山高沢山線

〔既存路線の変更〕 横手山毛無峠線、鳥居峠土鍋山線、野反湖畔線
野反湖周回線、渋峠草津線